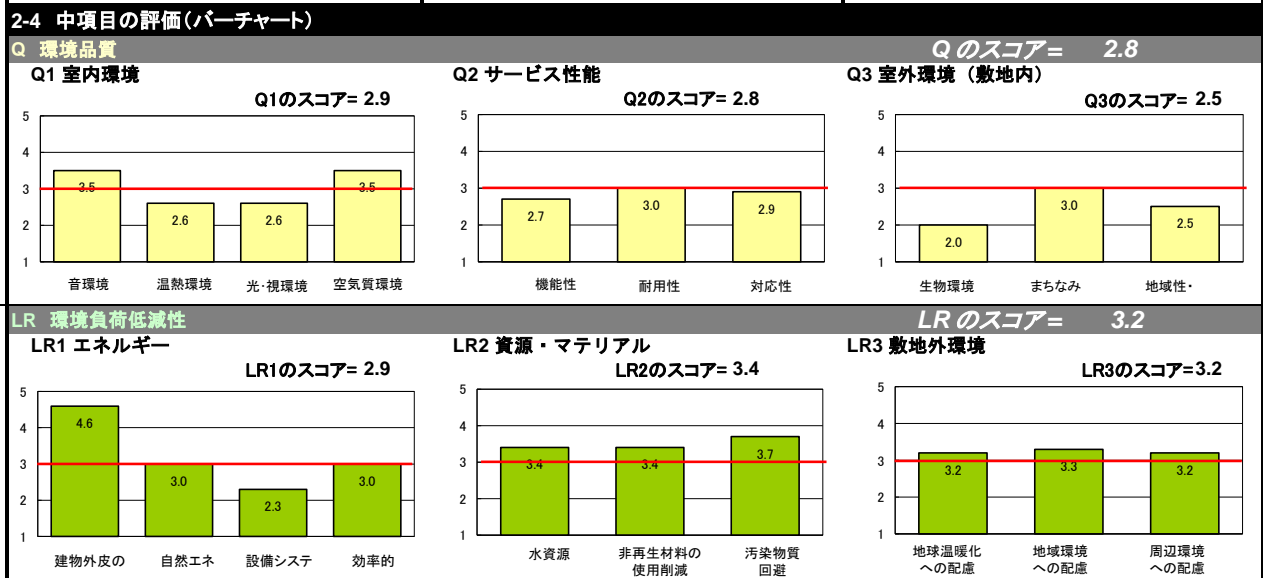
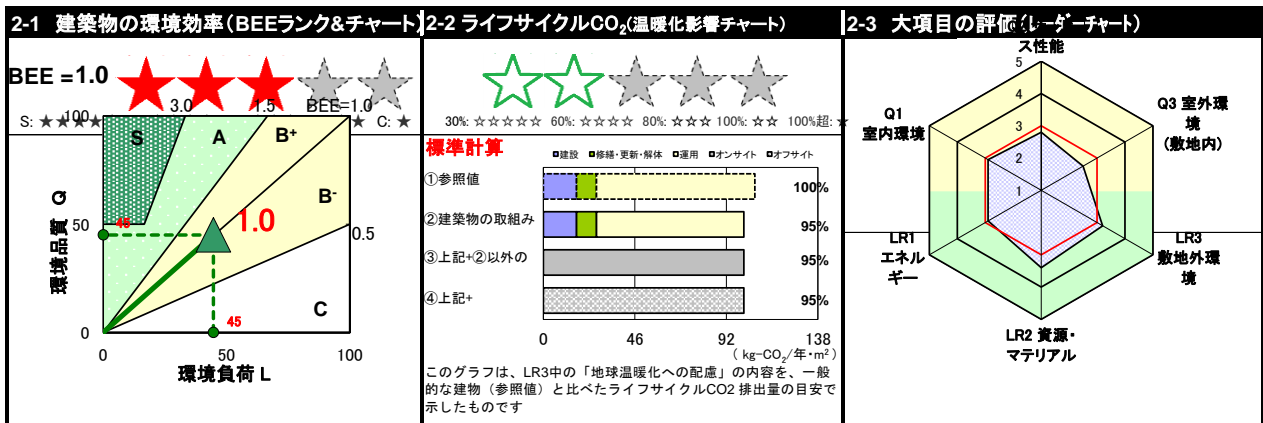


| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|------------------------|--------|---------------------------|
| 建物名称 | (仮称)神奈中相模ヤサセハツ相模原店新築工事 | 階数 | 地上2F |
| 建設地 | 相模原市中央区東淵野辺4丁目2209-49 | 構造 | S造 |
| 用途地域 | 準工業地域、法22条 | 平均居住人員 | 90人 |
| 地域区分 | 6地域 | 年間使用時間 | 8,760時間/年(想定値) |
| 建物用途 | 事務所、物販店、工場 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2020年7月 予定 | 評価の実施日 | 2019年9月6日 |
| 敷地面積 | 4,563 m ² | 作成者 | 大和ハウス工業株式会社厚木支社建築一級建築士事務所 |
| 建築面積 | 2,342 m ² | 確認日 | 2019年9月6日 |
| 延床面積 | 2,707 m ² | 確認者 | 大和ハウス工業株式会社厚木支社建築一級建築士事務所 |



| 3 設計上の配慮事項 | | |
|--|----------------------------|----------------|
| 総合 | | その他 |
| JR横浜線古淵駅から9分の一に立地し、住宅も入り混じった準工業地帯に外車の店舗を計画した | | 特になし |
| Q1 室内環境 | Q2 サービス性能 | Q3 室外環境 (敷地内) |
| 建築材料は、JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用 | 外壁仕上材、内装仕上材ともに耐用年数の長いものを使用 | 特になし |
| LR1 エネルギー | LR2 資源・マテリアル | LR3 敷地外環境 |
| BPI _m =0.84 | 自動水栓及び節水型便器を採用 | ガス燃焼機器を使用していない |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される